



1 学年 学年だよ



令和3年 6月1日
大和市立つきみ野中学校
第5号

1年生昇降口に学年目標・スローガンが
掲示されました!



STOP it の授業を終えて

友だちのピースカードを
見ている生徒

5月26日(水)の総合の時間に、ストップイトジャパン株式会社の方による「脱いじめ傍観者教育」の出張授業がありました。

子どもたちは、ネットいじめについての動画を視聴し、自分だったらどう行動するかを考え、いじめ相談報告アプリ「STOP it」の使い方を学びました。

用意された動画は、「次々に問題を起こしてしまう少年に苛立ったクラスメイトが SNS に悪口を書いてしまい、その結果、学校内でもいじめがエスカレートしてしまう」というストーリーでしたが、子どもたちには身近な出来事に感じられたので、真剣に見入っていました。



「STOP it」は大和市教育委員会が導入している、いじめ問題に的確に対応するためのアプリです。いじめの被害を受けたり、いじめを発見した子どもたちが、スマートフォンや自宅のPCから匿名で相談・通報・報告ができます。子どもたちは、クロムブックを使って実際にアプリにログインをし、テストメールを送る体験をしました。「STOP it」については、保護者用のお知らせをお子様にお渡ししてありますので、ご家庭でも話題にして頂き、何か心配なことがあればいつでもご連絡ください。誰もが安心できる学校づくりを学校職員一同目指していきます。

生徒の感想より

～あなたはどちらの選択肢を選びますか？～

①「松尾に対する悪口を止めるようアルファトークに書き込む」

- もともと松尾が悪い事をしていただけで、みんながやり返したり、悪口をずっと言い続けるのは良くないと思ったから。自分がもし嫌われても、友達を助けることを優先したいから。
- みんなが、松尾と同じようにいじめられるかも、と思って止められないなら、少しでも勇気がだせるように、自分が書き込む。
- 私が書き込んだら、ひょっとするとみんなも続いて書き込んでくるかもしれないし、自分もいじめられる可能性はあるけど、何も書き込みをしないで見て見ぬふりをすると、いじめがよけい悪化して、松尾が不登校になるとか、嫌なことになるかもしれないから。
- もし松尾に何かあって、とりかえしのつかないことが起きたら大変だから。しかも、1人に対してみんなが悪口を言っているのはいじめだと思うから止める。

②「アルファトークに何も書き込まない」

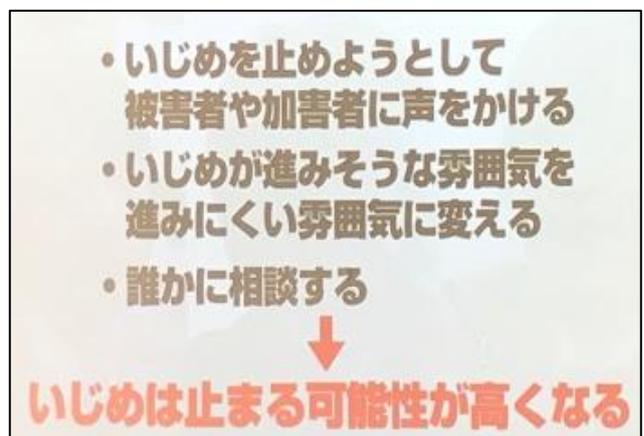
- 自分がアルファトークに書き込んでしまうと、何か言われてしまい、トラブルにもなるので、書き込まない。でも、何もしないのではなく、その後どうすれば良いか、誰かに相談する。(自分といじめられている人を守る。)
- 本当は書き込みたい！という思いもあるのですが、もしも自分が書き込んでいじめられてしまったら、もともこもないと感じたからです。けれど見過ごすことはできません。なので、どこか相談窓口に、家から相談の電話をかけます。これをしないと、自分もいじめている側になってしまうし、その子を助けたいからです。



～ここまでの内容から感じたこと、考えたことは？～

- ときには勇気を持って行動することで、他の人も何か行動できるから、自分から動くことも必要だと思った。でも場合によっては大人に相談することも大切だと思う。
- いじめが起きる前にいじめが起きにくいクラスを作ろうということ。
- いじめは、その人に対するかげ口からはじまります。できればそのかげ口のときにとめられたらいいなと思いました。見ている人の行動によって、いじめが変わっていくのなら、私は行動する1人目になりたいです。
- 観衆の人たちが、心配する側になっていけば、すぐにイジメはおさまるのに、それができないのは何でだろうと感じた。1人が動くことで皆が動くから、最初の1歩が大切なのだと思う。直接言えなくてもアルファトークや電話などで助けるべきだと思う。

- もし自分が当事者だったら「本当に言えるのか。」と思った。言えなかったら学級自体が暗くなる。だから明るくするためにも言わなきゃだめだけど、本当に言えるのか。言ったら自分までいじめられるかもしれない。ドラマみたいに先が分からないから「私は言える」と、胸をはって断言することはできないなと思った。
- 被害者や加害者自身がいじめを止めようとしなくても、観衆・傍観者（周りの人）が行動すればいじめを止められることもあることが分かりました。止めようと思った時に全体に言わなくても、一人、二人と少しずつ意見を共有すれば、だんだん全体からいじめがなくなっていくのではないかと思います。
- 傍観者も加害者と同じくらいの悪いことをしている。加害者も怖い、いじめをもっとエスカレートするよりはやし立てる人間も怖い。自分たちがやっている事が正しいとでも思っているのだろうか。松尾がいじめられている事に対し、自業自得だと思っている傍観者が多かったのだろうか。
- 松尾のこれまでの行動や言動は、他の人からするとうとうしいものだったと思うけど、仕返しをするのは間違っています。誰かが放った言葉や行動全てで、その人の立場は大きくゆらいで変わってしまいます。でも、逆に言うと、誰かが放ったそのたった1つの言動、行動で、誰かを救うこともできるのだと思います。いじめられている人は周りにいる人全員が敵だと思ってしまうかもしれません。みんなが敵だと思い込んでしまうから、相談もできない。そういう状況にしないように、自分たちが放つ言動、行動に責任を持ち、1人でも救っていきたいです。
- いじめ・悪口を止めるには、自分が先導して何かを言える雰囲気を作ることが大切なのだなと考えました。人は強い方の味方をする傾向にあるため、ただ見ているだけではだめなのだ分かりました。
- 意見を言いやすい雰囲気は、周りの大半の人達がつくることができるんだと分かった。でも、そのためには思ったことを伝えようとする最初の人が必要で、その人が出てこないと悪化していだけだから、SNSにただ書きこむだけでなく、周りの大人に伝えることも大切だと思う。



遠足の準備をすすめています

5月24日（月）の学活で遠足の班発表がありました。各クラス、中央委員2人と推薦で選ばれた4人の班長が、放課後、担任を交えて話し合い、班のメンバーを決めました。道徳でリーダー・フォロワーの在り方について考える題材『みんなで成功させよう』を学習したばかりということもあり、話し合いの中ではリーダーの自覚を意識した発言が多く見られたようです。班長も、班長以外の係になった人も、それぞれが自分の役割をしっかりと理解し、行動し、思い出に残る遠足を創り上げていって欲しいと思います。



期末テストに向けて



6月9日（水）～11日（金）に期末テストがあります。期末テストは9教科で実施されるということもあり、早めに対策をしなければなりません。24日（月）の学活で試験範囲表と計画表が配られ、勉強を頑張っているお子様も多いかと思いますが、今回も学年の職員でサポートしていきますので、補習や質問日にどしどし参加をお待ちしております。

<試験前の学年での学習支援>

6月1日（火）	朝学習（数学）	
2日（水）	//（国語）	
3日（木）	//（英語）	
4日（金）	//（社会）	放課後 数学補習
7日（月）	//（理科）	放課後 英語補習
8日（火）		放課後 学習質問日（全教科）

今回のテストは
国・社・数・理・英が50分
音・美・技家・体が30分です



《回収物について》

現在遠足保護者会の出欠確認を行っています。〆切は6月4日（金）になりますので、ご提出をお願いします。なお、遠足参加申込書の〆切日は5月27日（木）でした。まだご提出されていない場合、なるべく早くご提出頂きますようよろしくお願いいたします。